

実践英語 — 「統一」がもたらすもの

基礎教育センター・教授
福島 富士男

1. はじめに

一定の評価を得つつある本学の英語教育プログラムではあるが、今回はその実施運営に関わるあやうい側面について考察する。「統一」という言葉からはなかなか見えてこない側面を具体的に指摘をしたい。

本学の英語授業については、これまでは授業配置とその内容の観点から、以下のような説明を行ってきた。

1年次

Iab (日本人授業、 <u>統一</u>)	Icd (NSE 授業、 <u>統一</u>)
Reading, Listening <u>統一テキスト、統一試験</u>	Oral Communication (Role-Play, Presentation) <u>統一テキスト、統一試験</u>

2年次

IIab (日本人授業、選択)	IIcd (NSE 授業、 <u>統一</u>)
三つのメニュー (Media, Reading, Comprehensive) から選択	Oral Communication (Role-Play, Debate) <u>統一テキスト、統一試験</u>

教員配置

日本人専任 20人	日本人非常勤講師43人
Berlitz 講師 17人	

2. 「統一授業」の実施・運営とは？

上の表を別の角度、つまり実施・運営の観点から説明すると、別表1. のようになる。つまり、延べ6400人超の学生が受講する323コマの英語授業の授業があり、その3/4 (2年次の選択クラスIIabをのぞく) は共通テキストによる授業を行い、共通試験による成績評価をおこなうという「統一授業」が実施されている。以下、この英語授業全体を指して「統一授業」と呼ぶことにする。

324コマを専任教員 (20名、52コマをマ)、非常勤 (43名、120コマ)、ベルリッツ (17名、161コマ) が担当し、全体を「英語教育分科会 (8名)」が統括・運営を担っている (別表1. の図では、英語教育分科会が統一授業全体を「支える」かたちで表してある)。

「統一」をウリにしているようにも聞こえるこの英語教育プログラムは、その意味では聞こえもよく、また実際それなりの成果をあげてきてはいる。しかし、その実

施・運営の面では、大きな危険をはらんでもいる。

3. 英語教育分科会の仕事

別表2. を見れば、「統一授業」がどのような具体的、かつ包括的な業務を生み出すのか、その実際がお分かりいただけるだろう。「統一」の掛け声だけで「統一授業」ができる上がるわけではない。「統一授業」には膨大な仕事量が伴う。

別表2の⇒の下に列挙されている業務は、「統一授業」の運営には欠かせないものである。同時に、それらは常に英語授業全クラス324コマに参加する学生・教師が理解・納得できるかたちで遂行されなければならない。個々の業務が全体との関連のなかに位置づけられているばかりか、その一つ一つに明確な説明責任が設定されていると言える。

また、「統一授業」は学内だけで完結するものではない。外部機関 (教科書会社、ベルリッツ、プレースメントテスト業者、外部試験機関など) との協議・連携も必要である。言い換えれば、きわめて大きな社会的責任をとまなうということでもある。

これらを統括・運営するのが英語教育分科会の仕事なのだが、英語教育分科会には何らの事務スタッフもなく、結局8名 (2年任期、昨年度から1年毎に半数改選) の英語担当教員が、教務課の協力を得て、すべての業務に当たっている。結果として、毎年英語教育分科会はほとんど「野戦病院」と化す。英語教育分科会が現在進行中の「統一授業」とその関連業務に日々刻々当たっている (「追いまわられて」とも言える) からである。

別表2. に列挙した個々の業務についてその仕事量 (所要時間、所要人数、責任の大小など) を詳らかにすることは、「統一授業」4年目を迎える現在では、非常に容易い。しかし、ここでは、時間・労力・責任の大きい業務についてはゴチック体で示すに留め、あとは本レポートを読まれる方の想像力に委ねることとする。

4. まとめ——増大するリスクと責任

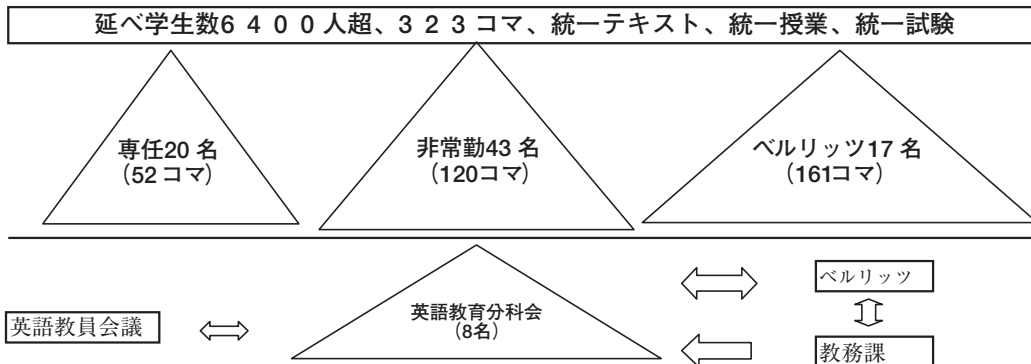
別表3. に示した小さな三角形、大きな三角形について若干の説明を加える。クラスが個々に運営されていればリスクはクラス単位でしか生じない、したがって危機管理も容易い。しかし規模が大きくなればなるほど、リ

スクは飛躍的に増大し、危機管理には大学全体で当たらなければならないものとなる。

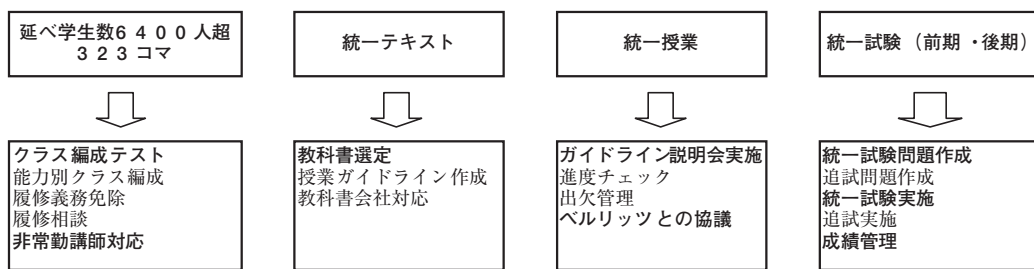
いずれにしろ、英語教育分科会8名の教員では引き受

けられないリスクと責任が生じつつあるのが、英語教育における「統一授業」の現状ではないか思う。

別表1.



別表2.



ガイドライン説明会 (3月) 規模: 60名; 実施運営: 8名 (分科会)
 クラス編成テスト (4月) 規模: 1700名; 実施運営: 8名 (分科会) + 12名 (専任) + 外部6名
 期末統一試験 (7月、2月) 規模: 3200名; 実施運営: 8名 (分科会) + 12名 (専任) + 外部16名

別表3.

